

京都市環境基本計画 WS開催結果

開催概要

ワークショップの基本情報と当日の流れ

【基本情報】

- ・ 日 時：令和7年7月6日（日曜日）午後2時～4時30分
- ・ 場 所：京都経済センター会議室7-B
（京都市下京区 四条通室町東入函谷鉾町78京都経済センター7階）
- ・ 対 象：市内在住・在勤・在学など京都市に関わりのある
- ・ 定 員：50名
- ・ 参加費：無料
- ・ テーマ：『あなたらしく考え、みんなでつくる環境の姿』
～私たちと京都の環境～
- ・ 申込期間：令和7年6月2日（月）～7月4日（金）

【当日タイムスケジュール】

- ・ はじめに（5分）
- ・ 環境基本計画について（10分）
- ・ ワークショップの説明・アイスブレイク（20分）
- ・ グループワーク前半（20分）
- ・ 休憩（10分）
- ・ グループワーク後半（45分）
- ・ 全体共有（40分）

【広報用チラシ】



「脱炭素」「生物多様性」「循環型社会」「環境教育」…

恵み豊かな京都の環境を未来の世代へ引き継ぐため、
あなたらしい持続可能なライフスタイルで実現していく
環境の姿を一緒に考えてみませんか？

開催概要

日 時 2025年7月6日（日）14:00（13:30開場）～16:30
会 場 京都経済センター会議室7-B
（京都市下京区 四条通室町東入函谷鉾町78京都経済センター7階）
対 象 18歳以上の方【定員50名】
（市内在住・在勤・在学など京都市に関わりのある方）
参加費 無料
申込方法 [要申込]下記申込フォームからお申込みください。
申込期間 6月2日（月）～6月20日（金）
※参加希望者多数の場合は、先着申込順とさせていただきます。

現在、京都市では、環境行政のマスタープランである「京都環境基本計画」が、令和7年（2025年）度末に計画年限を迎えることから、次期計画の策定作業を進めています。

次期計画の策定に当たって、健全で豊かな環境を、未来を担う若者世代に引き継ぐために、京都市はどのような環境を目標し、目標との間わりのもとどのように実現していくかを考える、ワークショップを開催いたします。

ぜひお問い合わせのうえご参加ください。
※グループに分かれて話し合いを行い、まとめられた意見は規定予定の環境基本計画の一部に反映予定です。



申込み・連絡先・発行元

京都市環境政策局 環境企画部 環境総務課
（〒604-8571 京都市中京区寺町通御池の上本能寺前町488番地）
TEL 075-222-3450
FAX 075-222-3426

申込フォーム <https://k.gd/vMTLb> (参考) 環境基本計画 <https://k.gd/BoVkd>



この印刷物が不要になれば「謎がみ」として古紙回収等へ！

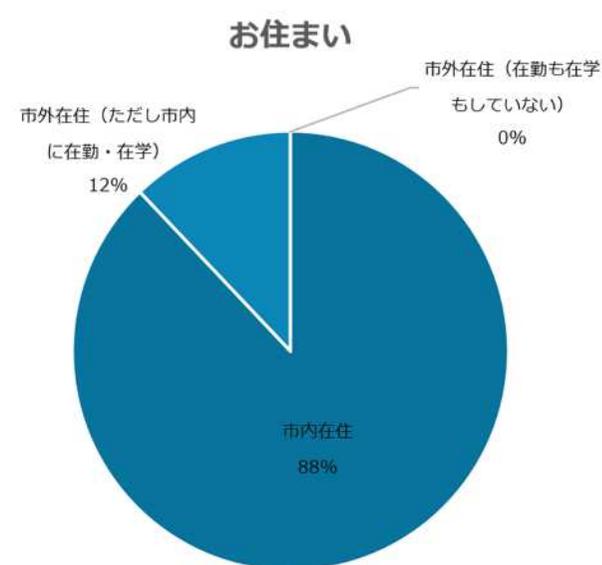
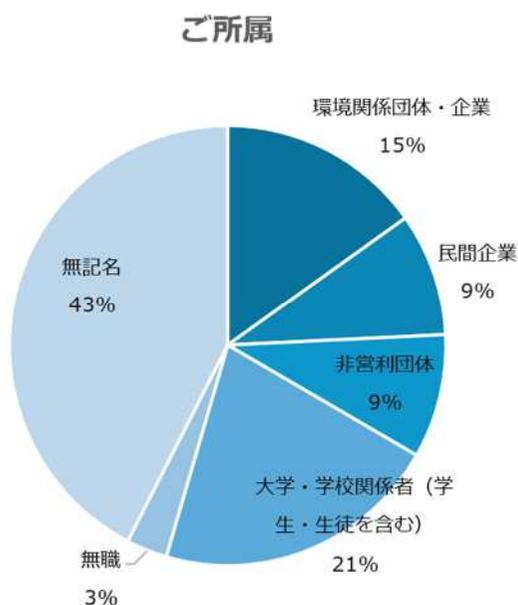
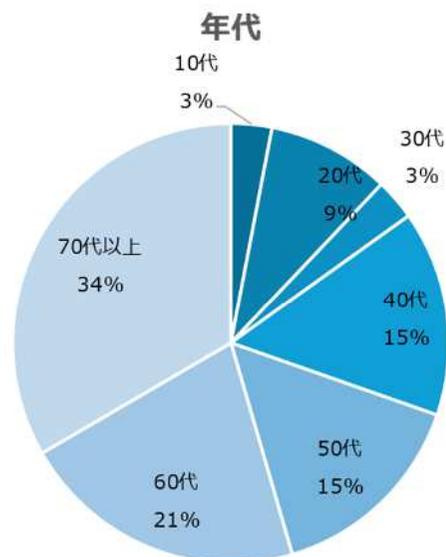


参加者について

事前申込者と実際の参加者

- 事前申込者は33名、当日参加者は31名だった。
- 事前申込者の属性としては、年代は50代以上が7割となったが、当日の参加では、高校生（1名）や大学生など若年層の参加もあった。
- 所属は、「大学・学校関係者（学生・生徒を含む）」が21%と最も多く、「環境関係団体・企業」が15%と次いだ。
- お住まいについては、参加申込者の9割弱が市内在住者となった。

申込者属性



※ご所属については、その回答から、属性を分類して集計した。

ワークショップにおける企画・運営の工夫

学生を交えた企画・運営

- ワークショップには、将来を担う世代の学生が環境を知り、考え、様々な意見に触れるきっかけづくりを創出することを目的として、その企画・運営への参加を募り、市内の大学生8名に参画頂いた。
- 大学生には、企画段階でテーマについての意見を頂いたことや、当日のテーブルファシリテーターとして参加者の意見出しの支援や出された意見の整理（付箋の整理や分類）のサポートを担って頂いた。

ワークショップの流れについて

- 7つの「テーマと問い」を設けて、各グループそれぞれのテーマで話し合いを行った。
- 1テーブルは4～5名の参加者として、各テーブルに運営側の学生をテーブルファシリテーターとして配置し、意見出しのサポートを行った。
- ワークは2段階の構成で行い、「テーマと問い」に関する参加者自身の実感度を確認するワーク1（「環境の状況」の実感）とその実感度をもとに、改善や促進といった行動変容に繋げるための意見を出し合うワーク2（「アイディア出し」）を行った。
- グループワーク後には、全体共有として各テーブルでの議論の要旨をそれぞれ発表した。

●グループワークの流れ（ワーク1と2の間には10分休憩あり）

グループ内で自己紹介（10分） → ワーク1「環境の状況」の実感度（20分） → ワーク2「アイディア出し」（45分） → 「全体共有」（40分）

●ワーク1「環境の状況」の実感

「環境の状況」の実感度について自分はどう思うか、なぜそうなのかを述べて共有してください！

- 最初の5分で案を出し、残りの15分はグループで共有。
- ポジティブな意見については緑のポストイット、ネガティブな意見については赤いポストイットで記載
- 実感についてグループでの見解をまとめることは意図してませんので、みなさんそれぞれの実感と「なぜそう思うか」を大切にしてください。

●ワーク2「アイディア出し」

実感度をよくしていくための行動と、行動を進めるためにあったらいいなと思うようなことなどを付箋に記入し、共有してください！

- 最初の10分で案を出し、残りの35分はグループで共有+再アイディア出し。
- 実現可能性は問いません。
- 環境と直接関係のないアイディアに、環境の要素を足してもOKです。
- いいなと思ったアイディアにはシールを貼って、共感をシェア。

テーマと問い

【脱炭素・地球温暖化対策】

○ あなたは、将来世代への影響を考えた脱炭素の取組が進んでいると感じますか？

【生物多様性・自然】

○ あなたは、多様な生きもののつながりや身近な自然環境について大切にしている社会になってきていると感じますか？

【資源循環】

○ あなたは、環境に配慮したものを買う、長く使う、捨てるものを減らす、リサイクルするといった、資源循環の考えや取組が広がっていると感じますか？

【環境教育】

○ あなたは、それぞれのライフステージに応じて、環境を良くする行動につながる、環境学習・教育の機会が広がっていると感じますか？

【情報】

○ あなたは、環境を良くするための情報が身近に得られ、具体的な行動につながる機会が広がっていると感じますか？

【観光】

○ あなたは、京都に来る観光客が、京都の環境を良くすることに貢献したり、京都の環境の魅力を高めるための役に立っていたりすると感じますか？

【エシカル消費】

○ あなたは、環境を考えた企業の取組に気づき、買い物・消費行動などで少しでも評価・応援する社会になってきていると感じますか？

当日の様子

全体の様子



全体でのアイスブレイク



グループワークの様子



グループワークの様子



グループワークの様子



全体共有 (脱炭素・地球温暖化対策)



当日の様子

全体共有（生物多様性・自然）



全体共有（資源循環）



全体共有（環境教育）



全体共有（情報）



全体共有（観光）



全体共有（エシカル消費）



全体共有のまとめ

要旨を掲載する。

脱炭素・地球温暖化対策

- （対策などを）意識しているか、していないかが人により分かれる。意識が高いことはいいことだが、意識が高い人の例が強調されすぎているように感じる。様々な人向けに色々な媒体で伝えて欲しい。
- 内窓やエアコンの補助など取組はされているが、そもそもエアコンが必要なくなるような断熱への取組をもっとやってほしい。市民に取り組んでもらうには、インセンティブが必要。
- EVをもっと増やさなければならないのでは？ ノーマイカーデーももちろん必要だが、EVのメリットをもっと訴求することが必要。EV充電スポットの拡充、EVタクシー、EVのサブスクなどもよい。
- 再エネ電力を採択している人の割合が0なので、電力会社を自然エネルギー由来のものに変えるための支援を施策としてやって欲しい。
- 脱炭素政策が生ぬるい。もっと先進的にやっている自治体を参考にしてみてもいい。
- やってもやらなくてもどちらでもよいような指標が多い。
- 炭素税も検討してみてもいい？
- 若者の気候変動対策への応援をもっと必要。

生物多様性・自然

- 京都市は、エコロジーセンターやワークショップ、イベントが充実している。
- 一方で、以前小学校に作ったビオトープが放置されているのではないかな？ ビオトープを使った教育を復活させてはどうかな？
- 車中心の社会のためアスファルトばかりで土が少ない。
- 野菜や米を作ることを経験できる機会が少ない。体験できる農園があるとよい。
- 都市化により自然が少なくなっている。放置された里山を復活させていく必要がある。
- 都市から少し離れたところでは、自然が多くあると感じる（＝京都のよいところ）
- 農業がやりたくて農業高校に通っても農地を得られなかったりするので、農業をしたい人と農地を売りたい・貸したい人とのマッチングの仕組みがあるとよい。
- 京都の木をつかった遊具があると、より自然と親しめるのではないかな？
- 他地域では、コインパーキングが農地に替えられた例もある。

全体共有のまとめ

要旨を掲載する。

資源循環

- ・ リサイクルの意識は高まっているものの、依然として過剰包装やプラスチックゴミの排出は多い。
- ・ ごみとして出るものを再利用することでごみを減らしてはどうか。例えば、コンポストの活用、ごみの有料化、食べ放題・オンラインショッピングの規制など。
- ・ 惣菜の容器やペットボトルの利用を減らすことが必要。
- ・ 輸送コストの低い地元の食品をもっと広めるべき。
- ・ アプリを用いたごみの分別促進。
- ・ ごみ処理場の見学により、ごみへの意識を高める。
- ・ 服・おもちゃ・本などに関しては、市民が持ち込んで再利用に回す仕組みを創ってはどうか
- ・ リペアを広める。

環境教育

- ・ 2050年には、京都のどこに行ってもきれいだと思える場所にしたい。
- ・ 現行の京都市環境基本計画の冊子では、当時のワークショップでの意見で、京都の理想の環境の姿として、子どもも大人も「星がよく見える環境」を挙げている。そのような環境を作っていきたい。
- ・ 同じ年代同士で教え合えあったことは、肌で感じた経験としてよい刺激になる。
- ・ 電車広告を活用することで、忙しい社会人にも環境のことを知ってもらおう。
- ・ アニメや漫画などを使って、幅広い世代に教育を。

情報

- ・ 京都市は、ウォーターサーバーによる給水場所やエコな商店に関する情報提供が少ない。
- ・ 人々の行動に関して、能動的に活動している人は積極的に情報を得ているが、そうでない人には情報が行き渡らない。
- ・ ウォーターサーバーの場所がわかるサイトはあるが、見つらくて使いづらい。子連れで行けるところなどにもウォーターサーバーがあるところが多くあるので、もっとわかりやすくして欲しい。画像や水質情報、口コミがわかるアプリがあるとよい
- ・ スマホが使える人だけでなく、多くの人に情報が伝わるよう、ラジオや新聞なども活用すべき。
- ・ 子どもや孫から親や祖父母に情報を伝えるのも効果的。
- ・ 子ども新聞は文字が大きくて内容が絞られていてわかりやすいので、子どもだけでなく大人も読めるような子ども新聞があるとよい。

全体共有のまとめ

要旨を掲載する。

観光

- ごみ問題、食品ロス、交通渋滞などがある。
- インバウンドでバス利用者は多いが、車は市民や市外からの移動者が多そうなので、もっと市民に公共交通機関の利用を呼びかけてはどうか。
- ホテルが増えてきているので、住民とホテルとの連携が必要。
- 外国人と住民が交流できるとよい。
- 周辺地域も含めたパークアンドライドなど、分散型の交通の仕組みがあるとよい。
- 滞在型の観光の推進により、車の移動を少なくできるのではないかな。
- 疏水や淀川を利用して、車移動を減らすやり方もあり得る。
- 車を利用する人に税金をかけてはどうか。
- 留学生などにルールを知ってもらうところから、外国人に取り組みを広めていく。

エシカル消費

- 太陽光パネルの設置は増えていると感じる。電力自由化も行われているが、実際再エネ電力を選んでいる人が少ない。義務付けてはどうか。
- 田畑が減っているので、大切に残すために田畑の埋め立てを禁止にすることや、京都市が田畑を買うなどの対策が必要ではないかな。
- 環境ラベルは増えてきているが、そういったものは高い。
- マイボトルを持ち歩く人も増えているが、京都市の給水マップのサイトに載っている公園の水は、衛生面から汲もうと思わない。
- 企業の環境に対する取組を知る機会が少ない。新しいことを始めようとする、必ず否定的な意見が出るので、企業を適正に評価する仕組みが必要。
- 若い人は、新聞を読まない人も多いので、インスタやTikTokを活用した情報発信が欲しい。

全体共有のファシリテーショングラフィック

グラフィックでまとめた全体共有の内容



各グループ作業

(1) 脱炭素・地球温暖化対策

「★」はグループ作業の最後にシール貼りで行った「いいな」という意見

実感

○意識

- 意識の高い人も多くいる（子どもからの環境を考える授業を取り入れ情報を与える。）
- 反面、関心の低い人もとても多い
- 地域によって日常的に意識を持つように（勉強）情報を流している（小学校では。）
- 一人一人の意識、行動を強調しすぎ
- 偏西風の蛇行をおこした気候変動どうするの？
- 中高生の環境教育は破綻している。目をあけたまま心が寝ている！

○住宅

- 内窓に補助している
- 太陽光パネルを進めている。
- エアコン普及しすぎ
- エアコンの放出熱をなくしたい
- 扇風機やうちわを

○交通

- EVバス実例 勉強してほしい（京女大）
- 乗用車を減らすために敬老乗車証をもっと

- 自家用車やめてバス・地下鉄

○産業

- 個人の努力は5.5%、産業関係70%以上
- 脱炭素と言えば電気と運輸・・・一番効率的と思う
- 京都市はサービス業がすごい
- 京都市は工業などが少ない

○エネルギー源

- 原発はCO2対策にならない
- 再エネ電気選択率0%とはどういうこと??
- 再エネ電力普及政策をやっているのか？

○京都市

- 企業への働きかけが足りない
- サーマルリサイクルはリサイクルではない
- DO YOU KYOTO? バスで流れるだけ
- 国より進んだ政策を先取りしてこそ先進都市であろう！
- 温暖化計画なまぬるい！
- 夜のライトアップはやめてほしい
- 若い人は、新聞を読まない人も多いので、インスタやTikTokを活用した情報発信が欲しい。

アイデア

○温暖化防止

- 若者気候訴訟を応援★
- 再エネブックレットの発行 原発はあるのに！（小学生に配っている）
- 文部科学省 教科書で再エネ不安定ともういわないで！ 蓄電池あるし！
- 再エネ賦課金のことを批判するのなら、電源開発促進税はどうなのか？

○住宅

- 既存住宅の断熱支援拡充★★
- ZEH10%は低すぎ！ 認知＋インセンティブ必要

○交通

- EVタクシーのサブスク⇒子育て・シニア支援★★
- HCEVバス、EVバス普及
- 市バス・地下鉄の本数増・利用料金減を！★
- EVバス、エネルギー効率がよいうえ、コストも安いよ
- 市が求めている毎月16日のノーマイカーデーを徹底できるように、情報共有と意識を高める

- EV充電スポットの拡充★★

- パーク&ライド バスやレールの徹底★

○エネルギー源

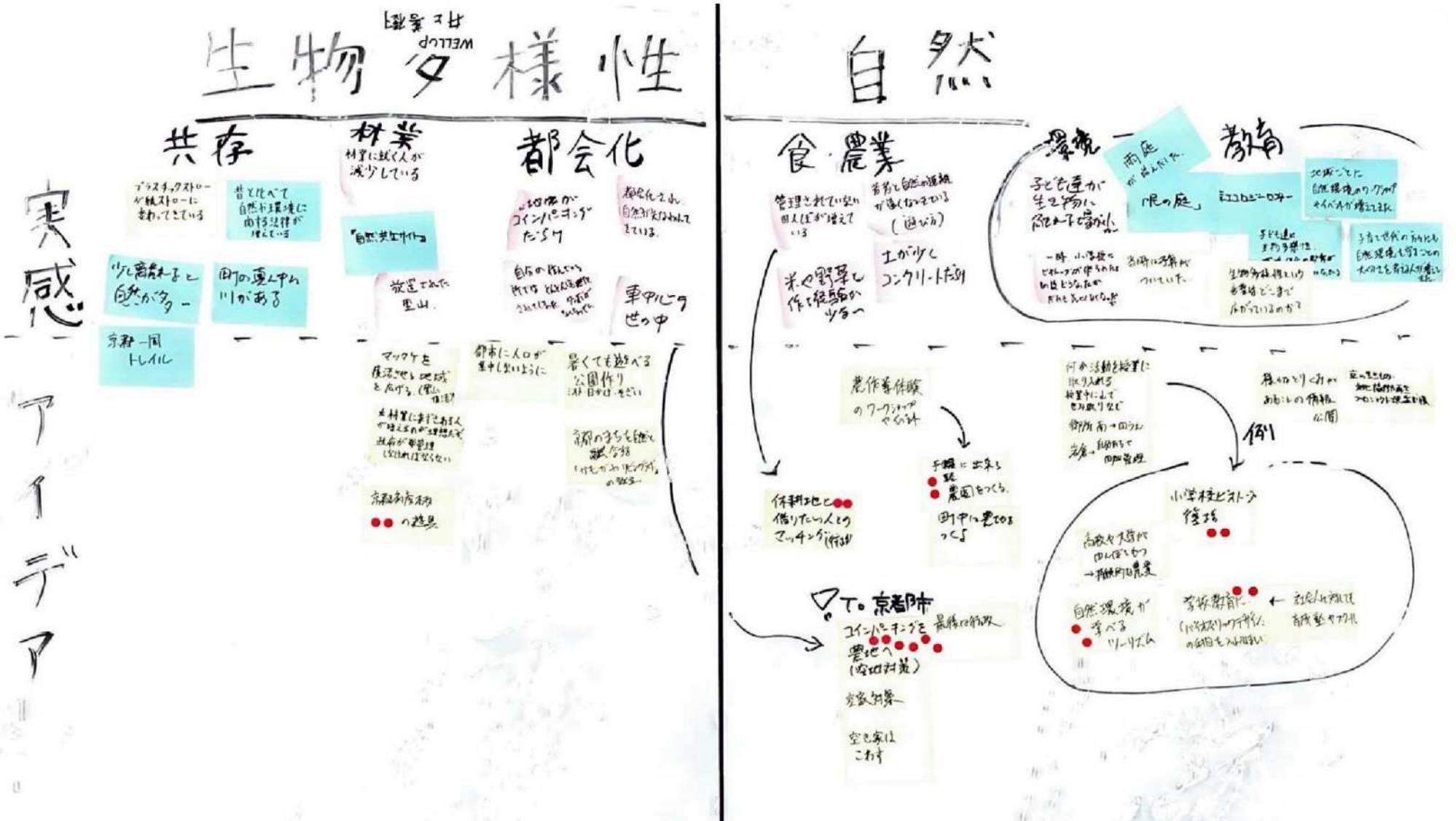
- 太陽光発電・biomass発電・ごみ焼却発電★
- 電力会社を自然エネルギーの会社に変える
- 再エネ電力購入支援（例：千代田区・茨木市）★★★
- 太陽光パネル・蓄電池が安くなっていることを伝える
- 再エネ支援の意義をTV・SNSで教育
- 再エネ賦課金の意義を伝える！（再エネ増えるよ）

○京都市

- ごみ焼却で政府部門熱供給
- 環境先進都市のよい点を取り入れる
- 3Rより2R。リサイクルはエネルギーがいる★
- 本質的な指標！（下げても下げなくてもいい、みたいなのは×）
- 拘束力のある目標値の設定
- 税制中立を前提とした炭素税★

各グループ作業

(2) 生物多様性・自然



各グループ作業

(2) 生物多様性・自然

「★」はグループ作業の最後にシール貼りで行った「いいな」と思う意見

実感

- 共存
 - ・プラスチックストローが紙ストローに変わってきている
 - ・昔と比べて自然や環境に関する法律が増えている
 - ・少し離れると自然が多い
 - ・町の真ん中に川がある
 - ・京都一周トレイル
- 林業
 - ・林業に就く人が減少している
 - ・自然共生サイト
 - ・放置された里山
- 都会化
 - ・農地がコインパーキングだらけ
 - ・都会化され自然が失われてきている
 - ・自分が住んでいるところはどんどん宅地化されてしまった。田んぼが無くなった
 - ・車中心の世の中
- 食・農業
 - ・管理されていない田んぼが増えている
 - ・若者と自然の距離が遠くなっている（遊び方）
 - ・米や野菜を作る経験が少ない
 - ・土が少なくコンクリートだらけ

○環境教育

- ・子どもたちが生きものに触れる場が少ない
- ・雨庭が増えだした
- ・「市民の庭」
- ・京エコロジーセンター
- ・地域ごとに自然環境のワークショップ・イベントが増えてきた
- ・一時、小学校にビオトープが作られたがその後どうなったか。誰も気にしなくなったので
- ・当時は予算がついていた
- ・生物多様性という言葉はどこまで広がっているのか
- ・子どもたちに生物多様性・環境保全の教育が（行われるように）なっている
- ・子育て世代の方々にも自然環境を守ることの大切さを考える人が増えてきた

アイデア

- 林業
 - ・松茸を復活させる地域を広げる（里山復活）
 - ・林業に携わる人が増えるのが理想だが、（現状では）政府が管理しなければならない
 - ・京都府産材の遊具★★
- 都会化
 - ・都市に人口が集中しないように
 - ・暑くても遊べる公園づくり（ミスト・木陰・素材）
 - ・京都のまちを自然と融合する「かもがわりビングラボ」の設立
- 食・農業
 - ・休耕地と借りたい人とのマッチング★★
 - ・農作業体験のワークショップやイベント
 - ・手軽にできる農園をつくる★★
 - ・町中に農地をつくる
- T o 京都市
 - ・コインパーキングを農地へ（空き地対策）★★★★★★
 - ・最後は行政
 - ・空き家対策
 - ・空き家はこわす

○環境教育

- ・様々な取組があることの情報公開
- ・京の生きもの文化協働再生プロジェクト創出制度
- ・何か活動を授業に取り入れる（授業中にセミ取りなど）
- ・御所南→田植え 岩倉→自分たちで田畑管理
- ・小学校ビオトープ復活★★
- ・高校や大学が田んぼを持つ→持続的な農業
- ・自然環境が学べるツーリズム★★
- ・学校教育に「バイオフィリックデザイン」の科目を入れてほしい
- ・↑社会人に対しても育成塾やスクールを

各グループ作業

(3) 資源循環

「★」はグループ作業の最後にシール貼りで行った「いいな」という意見

実感

○感じる

- ・古着屋が多い
- ・市が回収をやっている
- ・物価高で家庭の食品ロス（削減）が進んでいる
- ・家庭ごみは減っている
- ・リサイクルの意識は少し高まりつつある
- ・人の意識は高そう
- ・レジ袋、ごみ袋の有料化
- ・ごみ袋が有料

○感じない

- ・プラのサーマルリサイクルってただの焼却処分
- ・脱プラに関する条例などがなさそう
- ・ごみ箱足りてない
- ・プラスチックを使いすぎ
- ・お惣菜のプラ容器いる？
- ・食べ放題、飲み放題は禁止すべし
- ・食べ放題って要りますか？
- ・使い捨て文化を見直す
- ・ファストファッションの流行
- ・詰め替え商品も輸送過程で包装がある

- ・詰め替え商品も結局プラ容器に入っている
- ・環境配慮製品は概ね高価で（日常的）に買えない
- ・ごみ袋にまだ紙類やプラが入っている
- ・洋服はほぼ焼却処分
- ・ごみの分別が適当
- ・数年たつと家電やPCの修理サービスが無くなる
- ・ごみ袋の出し方 カラスに困っている。

アイデア

○減らす

- ・リサイクルできない製品の生産禁止条例★
- ・プラ以外の素材活用★
- ・プラごみを洗う
- ・生鮮野菜見た目よりも味（過剰包装要らない）
- ・簡易包装、包装無しという選択肢
- ・自然にかえるもの（木・竹・布）を使う 京都らしい
- ・長く愛着をもって使うことができ！！

- ・脱プラ宣言
- ・食べ放題をやめる
- ・オンラインショップはなるべく使わない
- ・コンポストがもっと気軽に（つかえるように）
- ・生ごみの有料化（コンポスト配布）★★★★
- ・詰め替え
- ・プラから自前の容器に
- ・はかりうり
- ・ととやさんのような
- ・プラ容器に入っているものに価格を転嫁⇔量り売りを安く★★★★
- ・ウォーターサーバーを増やす★
- ・ウォーターサーバーをもっと町のあちこちに（駅のホームとか）
- ・有料ゴミ箱の拡大
- ・不法投棄厳罰化&監視強化
- ・IoT搭載ゴミ箱
- ・ウォーキングしながらごみ拾いをする
- 意識向上
- ・分別促進→メリットの提示
- ・適切なおみ分別の促進 アプリとか

- ・各々のごみの行先をオープンに！★
- ・ごみ袋をすべて透明にして記名する
- ・環境教育 処理場見学とか★
- ・環境への影響の周知
- ・エシカル消費に補助を出す
- ・地元職人を多く 輸送コストのかかるモノを高く
- 再利用
- ・リースを増やす
- ・みんなのおもちゃ箱
- ・容器等のリサイクルの仕組みづくり
- ・回収品の再利用★
- ・みんなのクローゼット
- ・みんなの図書館
- ・町中にリペアCAFEを！！ 空き家利用
- ・家電・PCメーカーは作った製品に最後まで責任をもってサービスする
- その他
- ・研究により助成金を
- ・環境先進都市で京都をブランド化

各グループ作業

(4) 環境教育

「★」はグループ作業の最後にシール貼りで行った「いいな」という意見

実感

- 子ども
 - ・ごみ拾いに参加する若い人が多い
 - ・小さいころから学ぶ
- リユース
 - ・ごみ分別を小さい頃からしている
 - ・分別できてる
 - ・リユース会の実施
 - ・リユース会で得たものを販売
- 美化
 - ・町にごみ少ない
 - ・地域ごとに清掃活動をする
 - ・そうじすることについての偏見
 - ・観光地のお掃除
 - ・一見大通りの道はきれいに見えるけどたばこの吸い殻が落ちている
- 大人
 - ・意識の高い人が多い
 - ・環境意識の高い人が多い
 - ・イベント参加している
 - ・避暑 ミスト
- 教育（主に子ども）
 - ・環境教育施設が少ない
 - ・知る場が少ない

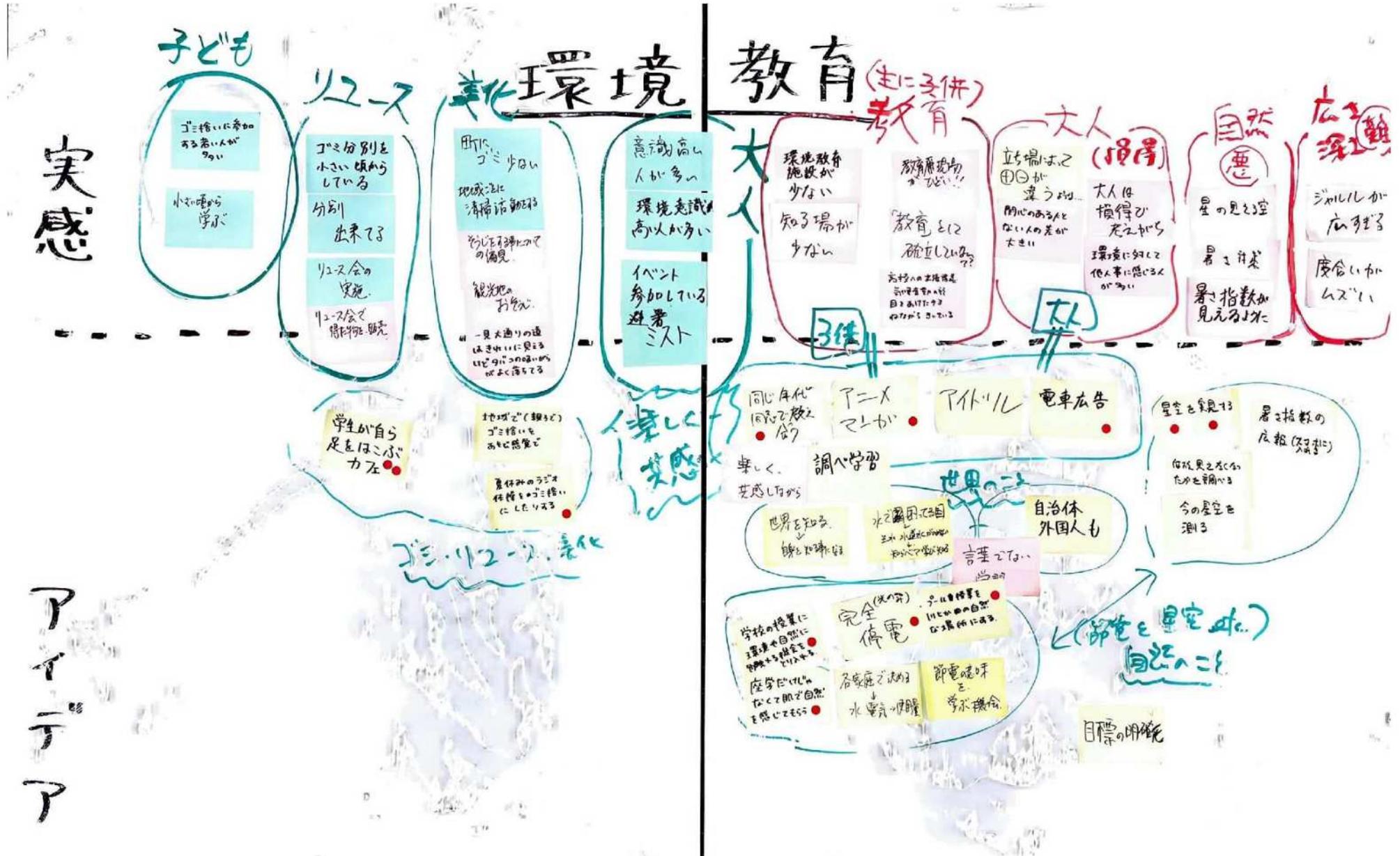
- ・教育現場がひどい！！
- ・「教育」として確立していない
- ・高校への出張授業で気候変動の話 目をあけたまま寝ながら聞いている
- 大人（損得）
 - ・立場によってプラスマイナスが違うような
 - ・関心のある人とない人の差が大きい
 - ・大人は損得で考えがち
 - ・環境に対して他人事を感じる人が多い
- 自然（悪い）
 - ・星の見える空
 - ・暑さ対策
 - ・暑さ指数が見えるように
- 広さ・深さ（難しい）
 - ・ジャンルが広すぎる
 - ・度合いがムズい

アイデア

- ごみ・リユース・美化
 - ・学生が自ら足を運ぶカフェ★★
 - ・地域で（親子で）ごみ拾いを遊び感覚で
 - ・夏休みのラジオ体操でごみ拾いをしたりする★
- 楽しく・共感を（子ども向け・大人向け）
 - ・同じ年代同士で教えあう★
 - ・アニメ・マンガ★
 - ・アイドル
 - ・電車広告★
 - ・楽しく、共感しながら
 - ・調べ学習
- 世界のこと
 - ・世界を知る→自身を知ることになる
 - ・水で困っている国→生水・水道水が飲めない→調べて学び知る
 - ・自治体 外国人も
 - ・言葉ではない学習
- 自然のこと（節電・星空）（節電）
 - ・学校の授業環境や自然に触れる機会を取り入れる★
 - ・座学だけじゃなくて肌で自然を感じてもらう★
- ・完全停電（光のみ）
- ・各家庭で決める→水・電気→使用量★
- ・プール授業を川などの自然な場所にする★
- ・節電の意味を学ぶ機会
- ・星空を実感する★★
- ・なぜ見えなくなったかを調べる
- ・今の星空を測る
- ・暑さ指数の広報（スマホに入れる）
- ・目標の明確化

各グループ作業

(5) 情報



アイデア

各グループ作業

(5) 情報

「★」はグループ作業の最後にシール貼りで行った「いいな」という意見

実感

- ・○情報への人々の捉え方
- ・フェイクに左右されず自分の足で探す
- ・○京都市の情報提供
- ・エコな商店の情報発信がない
- ・ウォーターサーバーが設置されているがその場所がわからない
- ・どうしたら街なかに太陽光パネルを増やしていけるのか可能性が限られていると感じる
- ・水を汲める場所の情報が出ていますが、ほとんど公園の水飲み場で、安心して汲めません
- ・○その他
- ・日傘をさしながらスマホの読み歩きが多い
- ・自分から行動しないと情報が得られない
- ・ごみの分別回収がルールどおり実施されている
- ・人々の行動
- ・自宅で使用しているエネルギー量を知らない人が多い

アイデア

- ごみ・リユース・美化
- ・ひまわりの活用
- ・気象情報モンスーン気候になっていく日本をどれだけ伝えるか
- ・山火事で焼失した杉の代わりにクヌギやナラを植樹して熊のためにドングリを育ててほしい。熊は1日24個必要。
- ・市民が情報提供意見出しできる機会が増えるといいと思う★
- ・アプリの開発とかの機会に市民の声を
- ・暑い夏を冷房以外で涼しめる方法の掲示★
- ・クールシェアスポットの公開
- ・図書館とかも、涼しく作業できる場所を増やす
- ・親子連れで行けるところ（遊べるところ）
- ・ウォーターサーバーの場所や環境系の情報がわかるアプリの作成と配布
- ・ウォーターサーバー、水汲み場の水質検査結果の検査実施日など掲示してほしい
- ・環境系をまとめたアプリを！

★★★

- ・みやすい情報提供を
- ・このアプリに行けばすべての情報がまとまって格差をなくす
- ・口コミ投稿ができるように
- ・街灯とかごみ散乱とか写真とGPSを連携して市に提出できるように
- ・いろんな品物を廃棄したい時の情報がスマホをかざすとわかるシステム・アプリが欲しい
- ・ごみをスマホで写すと排出の仕方がわかるソフトを作してほしい★★★
- ・情報格差を引き起こさない京都市の責任
- ・環境のためにやるべきことを具体的に十か条みたいな感じで作る
- ・興味を持てるような行動をする
- ・環境を考えられるようなイベントを増やす
- ・京都市内の住宅・建物の屋根すべてに太陽光パネルを載せたとしたらどれくらい発電できるのか教えてほしい

- ・おもしろく発信を
- ・トピックの選定変える
- ・アプリでなく新聞・テレビ・ラジオなどでも発信を★★★
- ・市民しんぶんの発行回数を増やす
- ・放送、金曜日午後9時～環境に関することを広く回数を増やしていく
- ・学校での情報発信&教育
- ・子どもからの発信★★★
- ・市民こどもしんぶん

各グループ作業

(6) 観光

「★」はグループ作業の最後にシール貼りで行った「いいな」という意見

実感

○交通

- 人が多い
- 交通渋滞
- 交通渋滞の原因はインバウンドより市内自家用車の交通量増（市外からは減）
- 公共交通機関が多い
- シェアサイクルが便利
- 京都駅の混雑
- 市バスが乗りにくくなった（観光客が多いので）

○ごみ

- ごみがある
- 修学旅行のマナーはよくなってごみのポイ捨ては減った
- プラスチックはペットボトルよりもアスファルトタイヤの影響が大きいので

• 車を減らすこと＝プラ

○観光客の意識

- インバウンドの方々も環境ルールに熱心な人も多い
- 環境に関する場所にお金を落としてくれる

○京都の特性

- 観光地が徒歩圏に多い
- （京都には）古いものと新しい

ものがある。

• 暑い

○近年の傾向

- 飲食の価格が高い（インバウンド目当てで）
- 住民の空洞化
- 夜が明るすぎる
- 祭りのイベント化（祭礼の観光イベント化）

○ホテル（宿泊施設）

- ゲストハウスが増えてきた（地域の環境が変わる？）
- ホテルの乱立

○修学旅行

- 修学旅行は滞在型に！ タクシーでの移動は減らす
- 観光バスの路上駐車は環境・交通上問題

○交流

- 外国の方々との交流
- 京都の良さを外国人に発信できる
- 外国人と英会話の勉強ができる

アイデア

○情報発信

- 観光客に京都のルールをあらかじめ学んでもらって観光を楽しんでもらう
- QRコード★
- 観光パンフをデジタル化

○ルール・マナー

- ホテルと連携
- 予約するときに学ぶ★★
- マナーなどのオリエンテーション★★
- リピーターを増やす
- デジタル・web★
- ホテル・旅館の食品ロスを減らす

• 地産地消★★

• 食べ残しをしない★★

• ルールを教える場をつくる

• （来訪者との）話し合い

• ビジターセンター（ホテルで、デジタル情報で）

○分散

- 観光の分散化を推進する（例：山科・大津方面へ）
- 京都市だけでなく府や他府県と連携してパークアンドライドを相互に

• 修学旅行は環境教育の観点から滞在型に！（移動を減らす）★

• アニメ観光★

• 長期滞在型の観光の提案 滋賀・奈良との連携★

• 川を利用（水）★

• 山や川の近くは道路舗装をやめて歩きましょう

• （京都一周）トレイル（の活用）

○交流

• コミュニティー

• 住む人に環境についてのルールを★

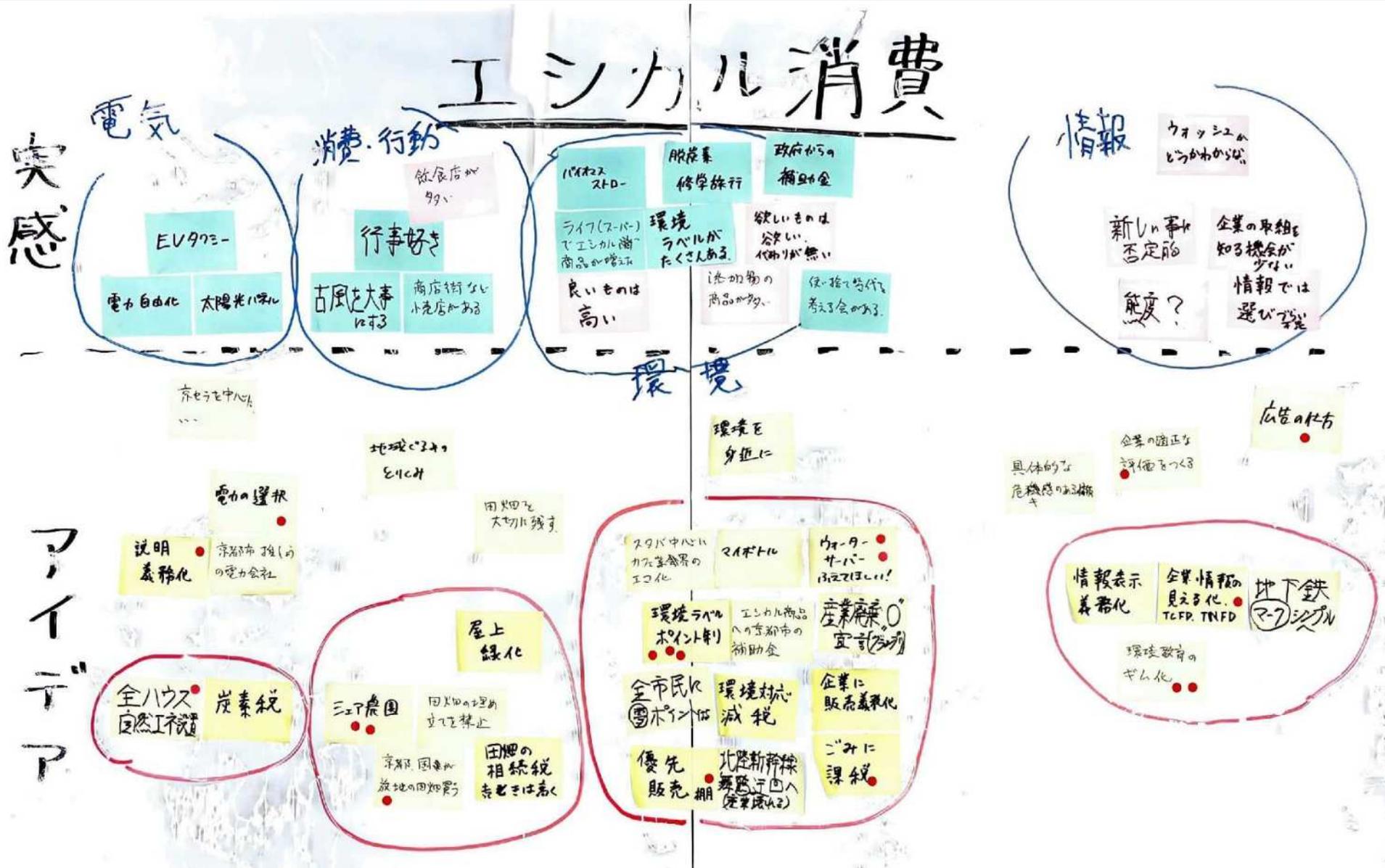
• 留学生

○交通

• 車の観光地への移動に課金する（外国では実施）★

各グループ作業

(7) エシカル消費



各グループ作業

(7) エシカル消費

「★」はグループ作業の最後にシール貼りで行った「いいな」という意見

実感

- 電気
 - ・EVタクシー
 - ・電力自由化
 - ・太陽光パネル
- 消費・行動
 - ・飲食店が多い
 - ・行事好き
 - ・古風を大事にする
 - ・商店街など小売店がある
- 環境
 - ・バイオマスストロー
 - ・脱炭素修学旅行
 - ・政府からの補助金
 - ・ライフ（スーパー）でエシカル商品が増えた
 - ・環境ラベルがたくさんある
 - ・欲しいものは欲しい 代わりが無い
 - ・良いものは高い
 - ・添加物の商品が多い
 - ・使い捨て時代を考える会がある

○情報

- ・ウォッシュかどうかわからない
- ・新しいことに否定的
- ・態度？
- ・企業の取組を知る機会が少ない
- ・情報では選びづらい

アイデア

- 電力
 - ・京セラを中心に・・・
 - ・電力の選択★
 - ・説明義務化★
 - ・京都市推奨の電力会社
 - ・全ハウス自然エネ設置★
 - ・炭素税
- 農地
 - ・地域ぐるみの取組
 - ・田畑を大切に残す
 - ・屋上緑化
 - ・シェア農園★★
 - ・田畑の埋立てを禁止
 - ・京都 国が放置の田畑を買う★
 - ・田畑の相続税 売るときは高く
- もの
 - ・環境を身近に
 - ・スタバ中心にカフェ業界のエコ化
 - ・マイボトル
 - ・ウォーターサーバー増えてほしい★★
 - ・環境ラベルポイント制★★★
 - ・エシカル商品への京都市の補助金

- ・産業廃棄「0」宣言（グランプリ）
- ・全市民に（夢）ポイント付与
- ・環境対策減税
- ・企業に販売義務化
- ・優先販売棚★
- ・北陸新幹線舞鶴迂回へ（産業壊れる）
- ・ごみに課税★
- 情報
 - ・具体的な危機感のある情報
 - ・企業の適正な評価（尺度）をつくる★
 - ・広告の仕方★
 - ・情報表示の義務化
 - ・企業情報の見える化、TNFD、TCFD★
 - ・地下鉄マークをシンプルに
 - ・環境教育の義務化★★

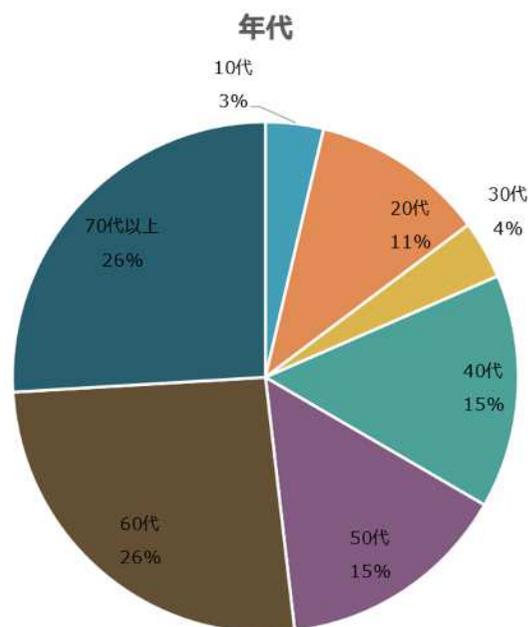
アンケート結果

基本情報

ワークショップの参加者に対して、実施直後にアンケートを取り感想を把握した。

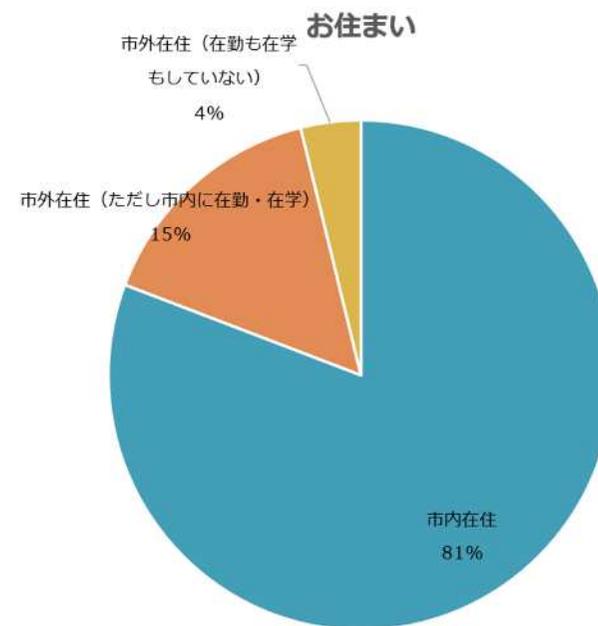
- 日にち：2025年7月6日（日）
- 集計方法：アンケート用紙の配布およびウェブフォーム
- 回答者数：27名（うち用紙18名、ウェブフォーム9名）
- 回収率：87%（27/31）

年代	
10代	1
20代	3
30代	1
40代	4
50代	4
60代	7
70代以上	7
合計	27



有効回答数：27

お住まい	
市内在住	21
市外在住（ただし市内に在勤・在学）	4
市外在住（在勤も在学もしていない）	1
無回答	1
合計	27



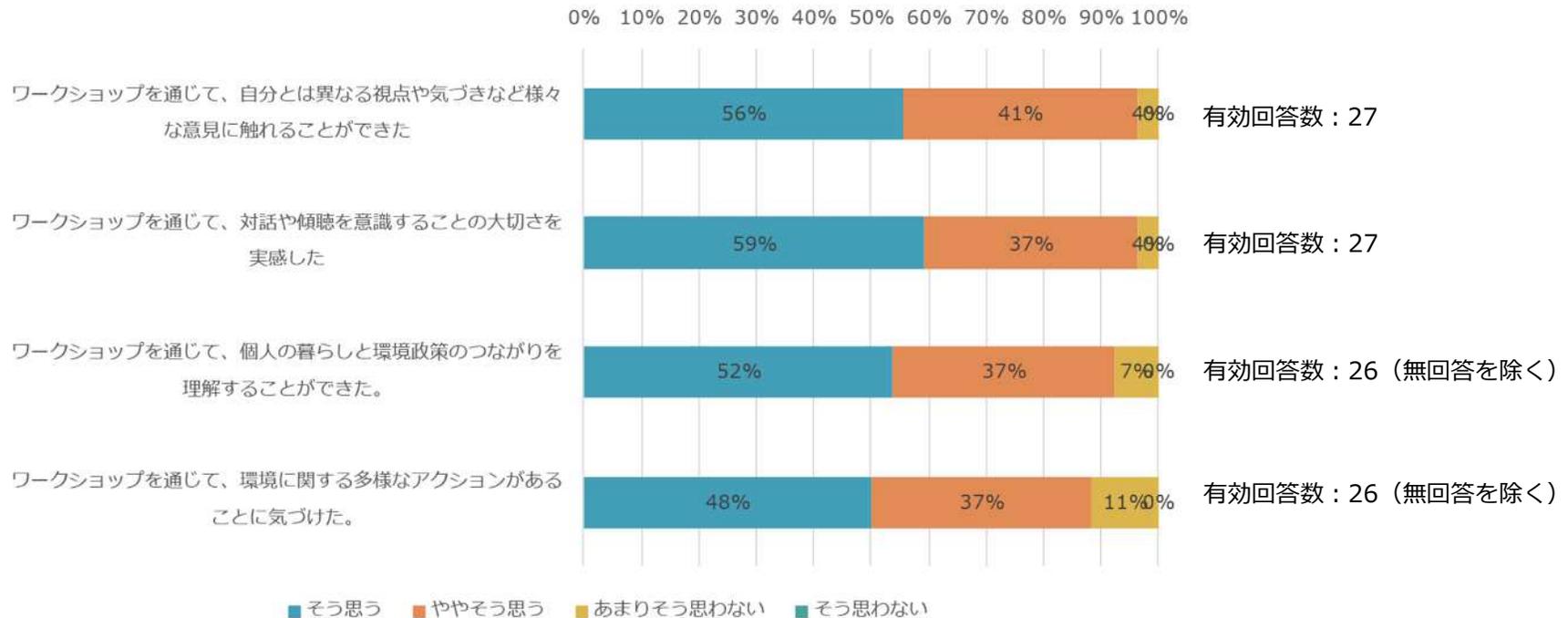
有効回答数：27

問) 今日のワークショップに参加してみて、あなた自身の心境の変化として当てはまるものを教えてください。

(各設問項目で該当するもの一つを選択)

- 全体を通じて、「そう思う」「ややそう思う」の回答が9割近くとなったが、「ワークショップを通じて、環境に関する多様なアクションがあることに気づけた。」の回答に関しては、「あまりそう思わない」の回答が約1割と他の回答より若干回答割合が多くなった。

今日のワークショップに参加してみて、あなた自身の心境の変化として当てはまるものを教えてください。(該当するものを複数選択可能)



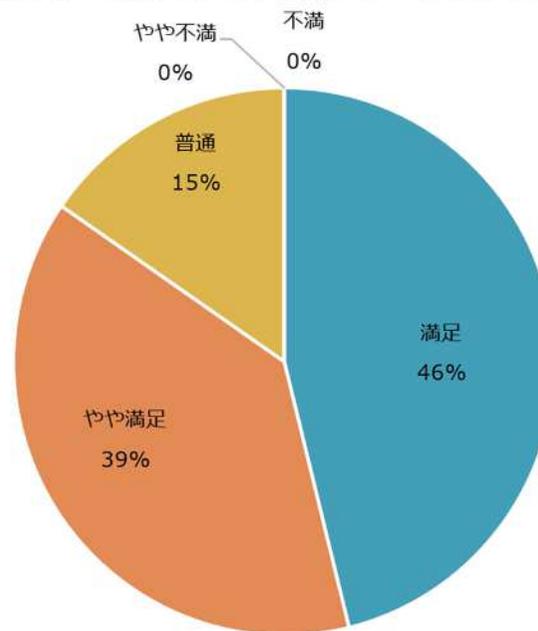
問) 今日のワークショップの満足度を教えてください。

(該当するものから一つを選択)

- 「満足」「やや満足」の回答の合計が8割以上となり、概ね満足度の高い結果となった。

満足	12
やや満足	10
普通	4
やや不満	0
不満	0
無回答	1
合計	27

今日のワークショップの満足度を教えてください。
(該当するものから一つを選択)



有効回答数 : 26 (無回答を除く)

問) 前段の満足度の回答について、その理由を教えてください。

(自由記述)

- 「満足」「やや満足」の回答者の多くは、多様な意見を聞くことが出来たという旨の回答をしている。(※)
- 「やや満足」や「普通」の回答者は、時間が足りなかったという意見が複数散見された。(※※)

意見	
[満足]様々なバックグラウンドの人と意見交換をすることができたから。 ※	[満足]色々な方の私と同じ思いに触れることができたり、違う見方も知れたことです。 ※
[満足]京都市の今後の環境計画について、市の一員として考える機会を持てたことが、とても貴重で感慨深かったです。	[満足]様々な立場・世代と共有出来た ※
[やや満足]環境に関する対話ができよかったです。	[普通]議論を深めるまでにはいかず時間が少ない。実現可能かどうかにかかわらず、ということはアイデア出しに必要な要素なのは理解できるが、市民の意見を本気で聞く気はないんだよねと感じ ※※
[満足]様々な意見を共有出来て学びました。 ※	[やや満足]解決が難しい課題が、今回のみでどの程度役立つかわからない点
[満足]多様な方々から思いや意見を聞くことができました。 ※	[普通]京都市政にどう生きるかの説明が欲しい
[やや満足]今回の市民意見が具体的にどのように環境基本計画に反映されるかについての説明が不十分だとおもう。	[やや満足]自分とは違う、特に若い人の視点を聞くことができた。 ※
[満足]京都市に具体的な提言が出来る機会に出会えた。	[満足]様々なご意見アイデアを知ることが出来ました ※
[やや満足]考える時間が少なかつたように思います。又同じテーブルの方々と、もっと話してたらもっと最終的にまとまったと思います。 ※※	[満足]活発な議論ができた。広く環境問題を実感するとともに、市民の理解を広めることとの難しさを感じた。
[満足]新たに様々な課題について知ることができたから。 ※	[満足]初めて参加しました。ワークショップの流れを感じたのが良かった。
[やや満足]良い機会をいただきありがとうございました。	[やや満足]チーム分け(グループ分け)の仕方で自分が求めているチームがなかった。
[やや満足]時間が少ないのと知識が差があり、深い意見をどう出すかが課題だと思いました。 ※※	[普通]すでに考えている内容が多かった

有効回答数：22 (無回答を除く)

問) 今日のワークショップで得た気づきや、他の参加者の意見で良いと思ったことがありましたら教えてください。

(自由記述)

- 多様な世代との対話が出来たことに関する意見が2件あった。(※)
- WSの内容のフィードバックや公表を求める意見が3件あった。(※※)

意見	
<p>ブラごみを減らす点で、量り売りを拡充するという意見が複数出たのが印象的だった。</p>	<p>沢山ありすぎて書ききれませんが、農業したいけど農地をもらえないのはなんとかしたいし、とんとかしてほしい。あと、便利に流れるより不便さを生きる「停電時間」をつくるなど、実現してほしいです。</p>
<p>環境に関する課題について、普段は同じ学生と交流する機会が多いので世代を超えて多様な意見を聞いて面白かったです。※</p>	<p>様々の観点からの意見が参考になった。</p>
<p>色々なアイデアが計画に反映されることを願っています。</p>	<p>今回のワークショップの内容や話し合われたこと、出た意見など、今日参加できなかった市民にも公表してほしいです。※※</p>
<p>ウォーターサーバーの活用など 今回、ワークショップで色々な意見が出てこれたと思います。この場からどういう意見が反映されたか資料でいただけると幸いです。※※ 私達が子どもの頃と比べて今の子ども達に自然と触れ合う場が少なくなっていることに問題意識を持たれている方が多いことを実感しました</p>	<p>たくさんありました。 最初のオリエンテーションから30分と長すぎ。「やり方説明こりすぎ」 京都が環境問題に取り組んでいるという誇り、自身があるのであれば、こういう京都を理解、応援してくれるよ海外の人のみに訪れてほしいとアピールすべきだと思う。</p>
<p>学生さん2人がとても、身近に考えて貰い次世代への継承が、うまく繋がり期待できると思います。※</p>	<p>京都市の中で各テーマを縦割りするのではなく、総合政策として実施していく必要性 脱炭素、ネイチャーポジティブ、サーキュラーエコノミー/環境と農林業振興、都市計画</p>
<p>ビオトープや雨庭など新たに様々なことを知ることができて良かったです。特に、コインパーキングを農地にするという件に最も興味を持ちました。</p>	<p>子ども達の発言・発信しやすい京都市に</p>
<p>良い意見も多く、今回のワークショップのフィードバックを、京都市よりいただきたい。※※ 自然エネルギーの設置義務化など先進的な取り組みを進めてほしいです。</p>	<p>地球温暖化、脱炭素のチーム話がもっとも熱心に聞きました。</p>

有効回答数：19（無回答を除く）